

若い目

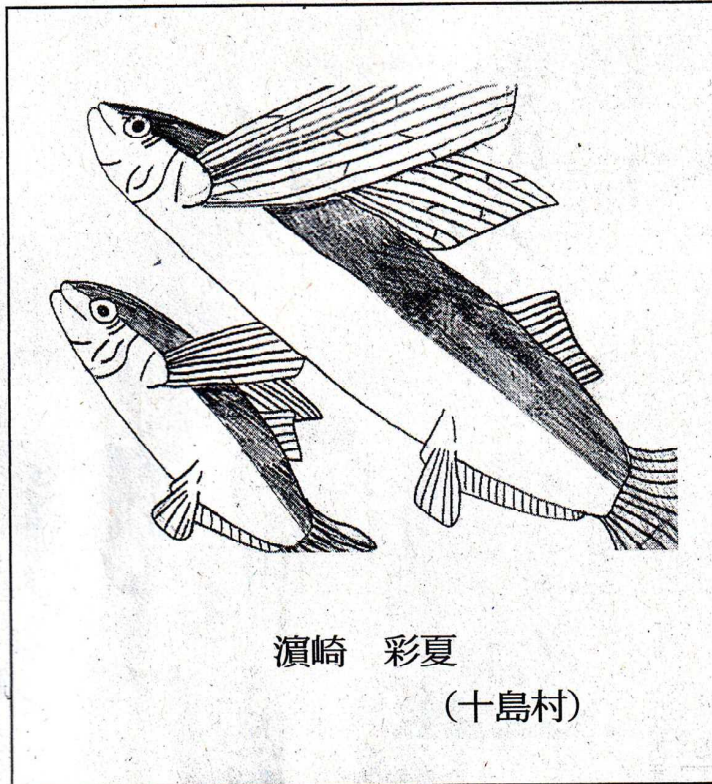
母の支えに感謝

鳳凰高2年

西橋 夢蘭

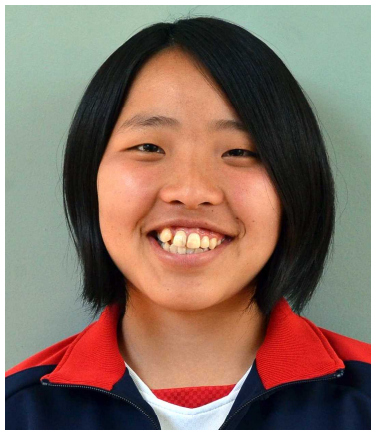
部活動中にけがをした。その時は激痛があつたけど、軽く考えていた。そんなに長くかからないと思つてた。病院に行った。前十字靭帯断裂と言われた。サッカーを続けるんだつたら手術が必要だと言われた。

急なことだったのでぼうぜんとした。でも母はちがつた。手術のできる日程をすぐきいて、どのような手術になるか説明してもらつた。自分は「長くて1年間プレーできない」と言われた言葉がずっと頭に残つ



濱崎 彩夏 (十島村)

て、なにも考えられなかつた。診察が終わり、母は自分に「けがしたことはしかたない。治すことだけ考えよ」と言った。前向きな言葉に助けられた。自分のために入院費など出してくれた親に、もうしわけないと思つた。



もうすぐ復帰できる時期になる。復帰したら母に感謝しながら、一試合一試合大切にプレーしていきたい。親に感謝し、ありがとうをたくさん言いたい。お母さん、お父さんありがとう。サッカーができるありがたさを知った。

(南さつま市)